

園内研修だより

～わくわく3号～

第3号 どんぐり保育園
南城市幼児教育センター

どんぐり保育園園内研修支援（講師：幼児教育アドバイザー）

1回目：9月21日(土) 「指針・要領の解釈について」

2回目：10月19日(土) 「遊びこむための環境構成について」

3回目：11月16日(土) 「子どもの主体性を大切にしたい保育について」



シンボルツリー-どんぐりの木



0歳児の保育室環境



ゼロ歳児は担当制保育を取り入れ、同じ保育士が食事、排泄、睡眠などの生活に継続的に関わり、愛着を形成に努めている。

◇保育所保育指針 P101

イ 社会的発達に関する視点【身近な人と気持ちが通じ合う】(ア)ねらい

①安心できる関係の下で、身近な人と共に過ごす喜びを感じる。

②体の動きや表情、発声等により、保育士等と気持ちを通わせようとする。③身近な人と親しみ、関わりを深め、愛情や信頼感が芽生える。保育指針に基づき保育環境や保育者の関わりを工夫している。



【担任と子ども達で話し合い】

担任が仲立ちをして言葉を付け加えたり、思いを訪ねたりすることで、話が伝わり合うように援助しているところがステキ。

運動会の「おわりのことば」どうする？ <<話し合い>>

T「運動会を見に来てくれたお客さんに、どうやってお礼を伝えようか？」

子「踊ってありがとうって伝えたい！」 子「歌を歌ったら喜ぶから歌ってありがとうを伝えたい」 子「ありがとうって言葉でいった方が通じるよ」等、自分の考えを伝え合っている。3歳児も一緒にできる方法を考えている。

◇保育所保育指針 P248・250 領域【言葉】ねらい①② 内容① 内容の取扱い②P261

「子どもが自分の思いを言葉で伝えるとき、保育士等や他の子どもなどの話を興味をもって注意して聞く事を通して次第に話を理解するようになっていき、言葉による伝え合いができるようにすること。」につながっている。



2回目：園庭環境の見直し

遊びに使える草花、蝶が来る食草を増やしていく。砂場の位置や道具の検討、0歳児のテラス側に遊ぶ空間を設置したい等、保育者から遊びこむための環境についてアイデアがたくさん出された。



【子どもの主体性を大切にしたい保育になっているかな？

語り合い】 <<3回目：グループ協議>>

「環境構成の工夫や保育者の援助が大事だね」「そうそう、保育者も主体的に関わらないと遊びは深まらないしね。だから共主体なんだ」「ただ遊ばせていては主体的な保育とは言えないよ～」「うん、しかけも大事だね」